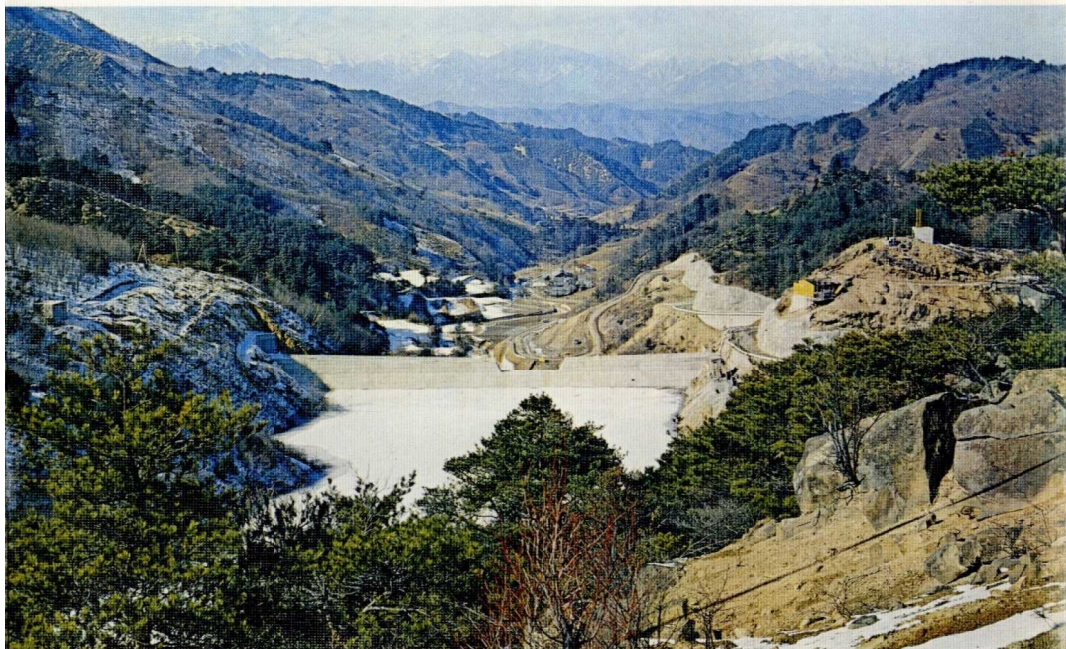


ひがし じょう

東条砂防ダム



1971

長野県土木部
犀川砂防事務所

東条砂防ダムの概要

東条川は、松本平と上田盆地を区分する筑摩山脈の丸山（1489.5m）に水源を発し、国道143号線を横断し洪状地を形成しながら北西に流路を変え、本城村東条地籍附近から扇状地にはいり、本城村、坂北村の穀倉地帯を貫流し、中島地籍で麻績川に合流する。水源地帯および流域一帯の山地は第三紀層に属し、谷形状は狭隘でかつ急峻で崩壊が多数あり、降雨時に多量の土砂を流送し過去幾たびか災害を起こしている荒廃河川である。特に昭和33年同34年の連年にわたる災害は、流域一帯に甚大な土砂害を及ぼし、人命財産に多大な被害を与えた。当ダムの完成は地域住民が永年待望したもので大きな期待がもたれている。

なお当ダムは下流一帯の早ばつ常襲地帯へ豊かな水の供給源ともなり、またダムサイト附近は春の芽ぶき、遠く雲上に浮かぶアルプスの輝きも眺められ、秋の行楽シーズンには松茸狩り、紅葉狩りと観光行楽地としても有望な開発地となるもので、当ダムの完成はこれらに大きく影響するものとしても期待されている。

ダム諸元

- 河川名 信濃川水系犀川支麻績川小支東条川
- ダムの位置 長野県東筑摩郡本城村字東条
- ダム計画の諸元

流域面積	4.67km ²	現況河床勾配	1/14
最大時雨量	60mm	計画河床勾配	1/37
流出係数	0.90	計画堆砂量	441.100m ³
土砂混入率	20%	有効貯水量	200.000m ³
比流量	18.0	湛水面積	31.200m ²

4. ダムの概要

- 型式 コンクリート重力式 (前法2.5分 脊法7.0分)
- 主要部寸法

各部	工種	本ダム	副ダム	側壁水叩部		摘要
				側壁	水叩	
堤長		130.00M	69.00M	32.125M	29.625M	
堤高		28.00	8.50	8.50	2.00	
天巾		2.50	2.50	0.50	25.10	
底巾		29.60	6.325	3.05	23.90	
立積		37,695.4m ³	2,554.8m ³	2,338.0m ³		ΣV=42,588.2m ³

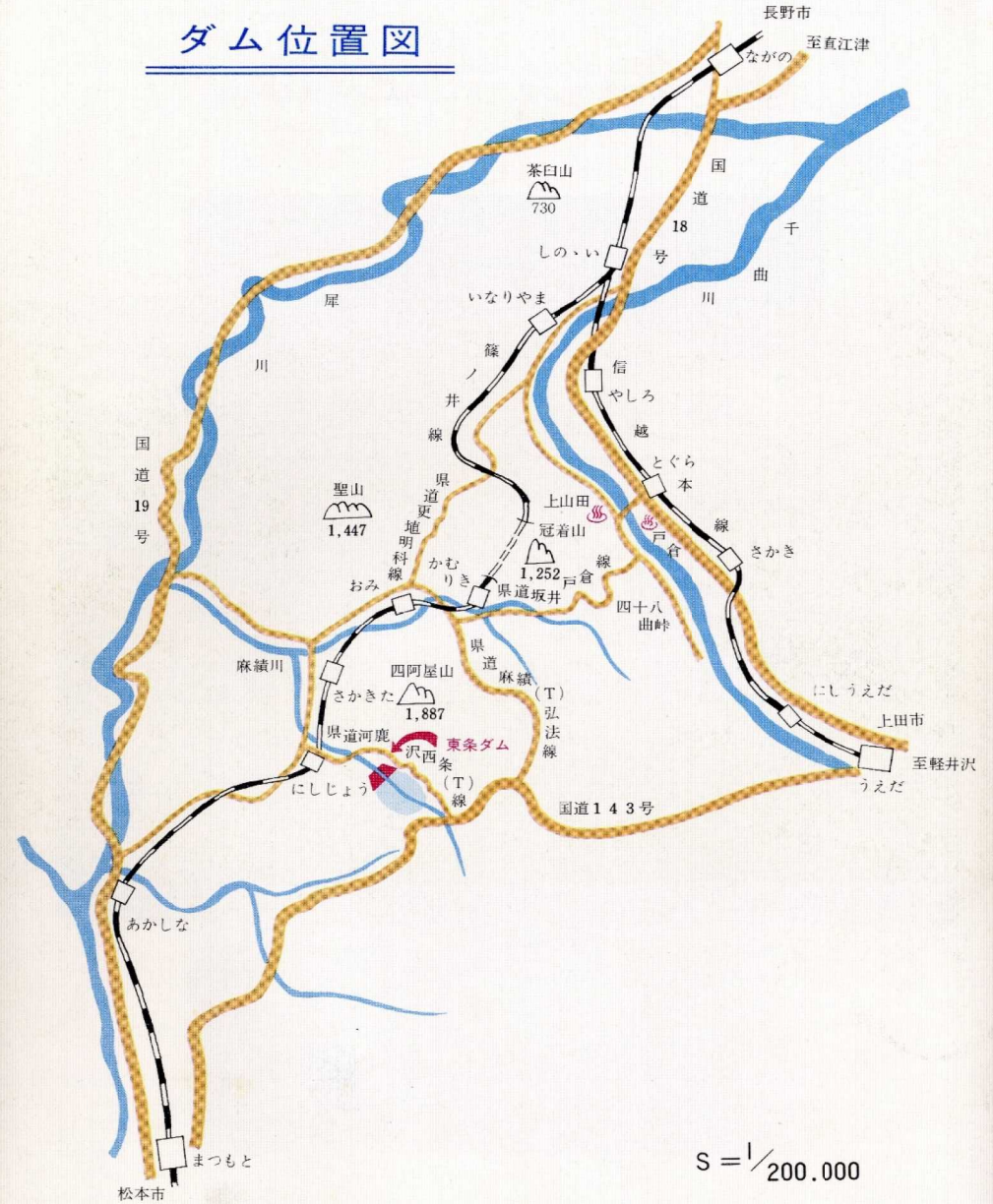
5. 事業費

586,000 千円

6. 事業効果

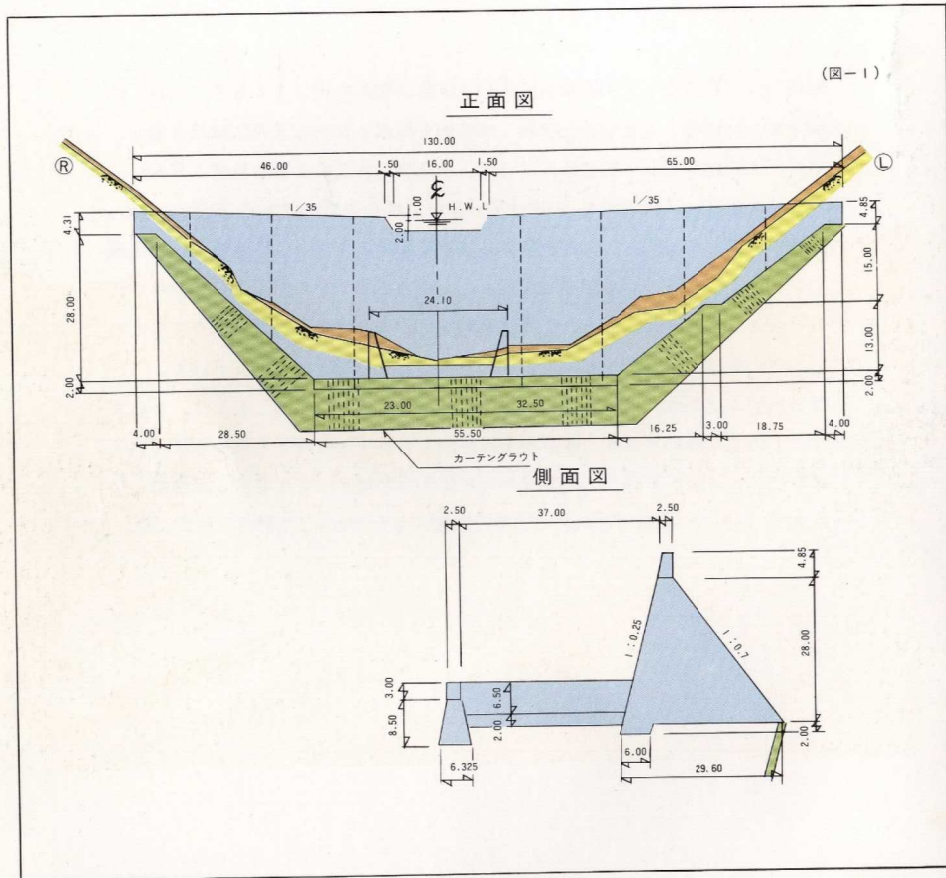
耕地造成	耕地安定	かんがい面積	人家	道路	橋	梁	鉄道
28 ha	48 ha	116 ha	120戸	5,000 m	2		1,500 m

ダム位置図

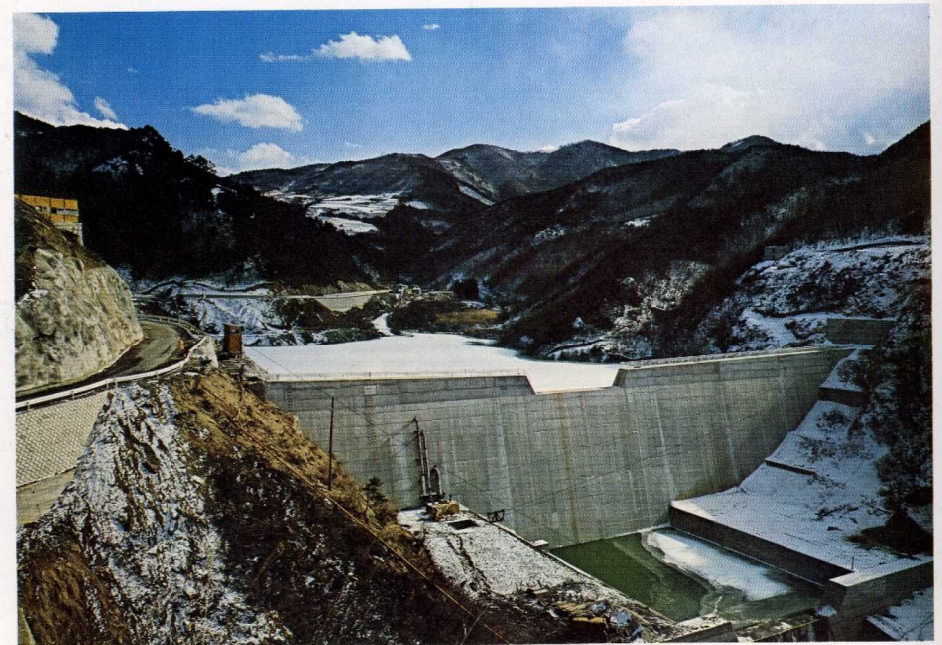


ダム計画図

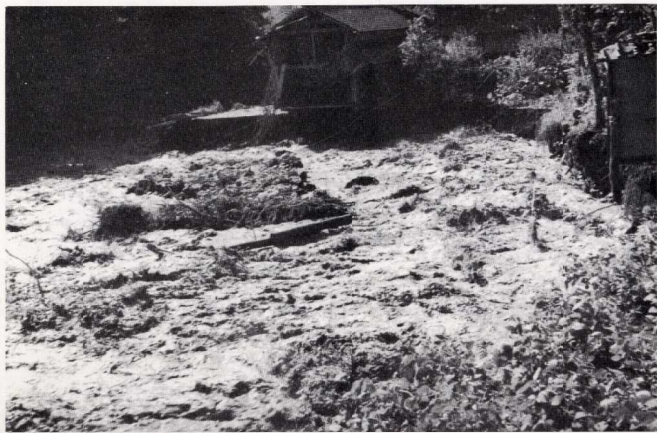
$$S = 1 / 1,000$$



東条ダム



昭和34年伊勢湾台風災害（ダム下流東条地籍）



ダム 工 事 中



(取 水 施 設)

